

成田みつおは
頑張る市民を
応援します！



キラリとし
しれ



南部瑛祐くん 12歳

■トライアスロンとは

1974年アメリカのカリフォルニア州サンディエゴで誕生。語源はスイム(水泳)自転車(バイク)ランニング(ラン)の3種類を連続して行うことからラテン語の“3”[「トライ」と「競技」の「アスロン」]を組み合わせた複合競技です。2000年シドニー大会からオリンピックの種目となりました。

■富山県トライアスロン協会松浦理事長のコメント

ランタイム、スイムタイムもJTUが認めるジュニアエリート級内。スイムも綺麗でスムーズな泳ぎで、スイム、ランもまだまだ伸びる力のある楽しみな選手、本人もトライアスロンが好きで続けていきたいと言っています。将来期待できるジュニア！富山県トライアスロン協会の強化指定選手に内定、今後スイム、ラン、バイクの強化を支援していきます！

Interview

- ①トライアスロンを始めたきっかけは？
小さなころから運動が好きで水泳や陸上をしていた時に、トライアスロンに出会いました。
- ②将来目指すところは？
全国大会出場で、大切にしているのは本気を出し切ること。
- ③勝負どころで使うカチウタは？
愛にできることはまだあるかい
RADWIMPS

■プロフィール / 経歴

名前 成田 光雄
生年月日 1969年10月15日(てんびん座)
血液型 A型
身長・体重 182cm・75kg
趣味 クラブ活動
役職
・富山県日韓親善協会 会長
・自由民主党富山市連合支部組織委員長
・富山市トライアスロン協会 会長
・(社)常願寺川公園スポーツクラブ 理事長
・富山工業高校同窓会 副会長
・自由民主党富山市連藤ノ木支部 常任顧問
・富山県立富山視覚総合支援学校教育振興会 顧問
・島用水維持管理委員会 顧問
・(社)三寿会 評議員
・保護司(令和3年5月委嘱、富山保護区配属)

昭和44年 富山市大江干で生まれる(現中部連合町内会)
昭和57年 富山市立藤ノ木小学校 卒業
昭和60年 富山市立新庄中学校 卒業
昭和63年 富山県立富山工業高等学校 卒業
平成元年 中堅ゼネコン 入社
平成7年 大成興業株式会社 入社
平成25年 富山市議会議員選挙 初当選
平成29年 富山市議会議員選挙 2期目当選
令和3年 富山市議会議員選挙 3期目当選



所属委員会
・厚生委員会 委員長
・富山地区広域圏事務組合協議会議員
・議会運営委員会
・富山市都市計画審議会
・議会改革検討調査会
・富山駅周辺連続立体交差事業促進期成同盟会理事

成田みつお事務所

〒930-0922 富山市大江干120-1番地

TEL. 076-424-7576 FAX. 076-424-7687

e-mail. contact@naritamitsu.com

(オフィシャルサイト) http://www.naritamitsu.com

(フェイスブック) https://www.facebook.com/narita320/



公式サイト



facebook

創刊号 [2021年7月発行]

富山市議会議員 成田みつお新聞

成田みつお エクスプレス

一人ひとりの声をかたちに

一人ひとりの声をカタチに、将来世代につなぐため
スピード感を持ち判断力と行動で実現します。

■ごあいさつ

日頃から、地域の皆様方には、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。また成田光雄の活動に対しまして、あたたかいご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

令和3年4月に行われた富山市議会議員選挙では、多くの市民の皆様方から力強い御支持をいただき、私たち自民党公認候補として新人を含め24名が全員当選することができました。議員定数の半数を確保することができ議会運営に直接携わる責任政党として、あらためてその重責を感じています。

また同時に行われた富山市長選挙では、元自民党県議の藤井裕久さん(59)が初当選を果たし、19年ぶりに県都のかじ取り役、新しい市長が誕生しました。藤井裕久さんとは青年会議所を通じて、20年以上お付き合いさせていただいており、頼りがいのある兄貴分として、また経済人、政治家として信頼できる仲間、同志でもあります。これからは

藤井市長が目指す「幸せ日本一とやま」を実現するために、しっかりと市政と市議会が連携を取り協調しながら進めてまいります。

また私の役割として、今年度は厚生委員会の委員長を仰せつかりました。福祉保健部、子ども家庭部、市民生活部、市民病院等を所管しており、新型コロナウイルス感染症対策やワクチン接種事業をはじめ、子育て世帯支援や児童福祉施設、コミュニティー助成など市民生活に直接かかわる重要な委員会です。

スピード感を持って現場重視・連携重視の姿勢で市民の皆様様に寄り添い、引き続き緊張感と責任感を持って全力で取り組んでまいります。

成田光雄

■トピックスレポート

議員活動は「議会活動」や「地域活動」を円滑に行うため、所属する政党団体や後援会があります。また市内外の組織・団体への役員就任など、様々な話題(トピックス)があります。

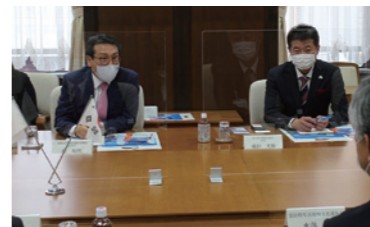
MAY 14



オンライン形式で全国から130名の議員が参加しました。あらためて家庭教育支援条例の必要性を強く感じており引き続き家庭教育支援の取り組みを力強く推進してまいります。

地方議員研修会

MAY 21



駐新潟大韓民国総領事富山県表敬訪問

MAY 31



更正保護制度・保護司制度の概要などの研修を受けました。この保護司会の活動を通じて再犯防止「世界一安全な国、日本そして富山」を目指して皆さんと共に取り組んでまいります。

新任保護司研修

■議会活動レポート

令和3年6月富山市議会定例会は6月10日から6月30日まで21日間の会期で開かれました。令和3年度補正予算案件、条例案件、契約案件、意見書等について審議し、合わせて37議案が原案のとおり決まりました。



45億5422万円の補正予算等を可決

①市長公約2億9257万円

- ・富山市スマートシティ推進ビジョン策定支援業務委託料等
- ・キャッシュレス決済ポイント還元事業委託料(決済額20%還元10月以降)
- ・市内宿泊促進事業委託料(1万円3千人分)

②新型コロナウイルス感染症関連11億3000万円

- ・新型コロナウイルスワクチン接種業務委託料等
- ・PCR検査委託料等
- ・子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外分)等

③当初予算に対しての肉付け予算1億5131万円

- ・自転車損害賠償責任保険加入促進補助金等
- ・市民球場内野スタンド観客席更新業務委託料等
- ・外国語指導助手配置業務委託料等

④国、県等の追加承認に伴うもの4億8460万円

- ・コミュニティ助成事業補助金
- ・プールパール再整備工事等
- ・呉羽丘陵フットパス連絡橋整備事業用地買戻し等

⑤昨年度の大雪及び4月末の豪雨関連1億370万円

⑥その他の追加補正4億1600万円

⑦特別会計の歳入歳出予算補正19億7602万円

可決意見書

- ・防災・減災、国土強靱化対策の加速化を求める意見書
- ・新型コロナウイルスワクチン接種等の体制強化を求める意見書
- ・木材の価格安定と国産材の供給力強化等を求める意見書

■本会議・一般質問にて

<ワクチン接種体制と高齢者向け接種完了に向けた状況について>

かかりつけ医などの医療機関の個別接種を主体に、補完する市が行う集団接種の会場拡大や、加えて県や職域、大学等の接種会場が順次拡大し、接種が早く進むよう、県や市医師会等、関係機関と連携を図り接種態勢の強化充実に努めています。高齢者向けの接種完了は、国の要請から7月末の接種完了を目指しており、接種希望者は高齢者の7割である9万人を想定。いずれにしても高齢者全員のワクチンは確保しているの安心して接種をお待ちいただきたい。

<今後のワクチン接種スケジュールについて>

優先順位は高齢者に続いて、基礎疾患のある方、高齢者施設等の従事者、60歳から64歳の方へは接種券を早期に順次発送しております。その他の60歳未満の方々へは、職域、大学等での接種態勢での進捗状況をみながら検討。また保育や教育関係等様々な団体から優先接種の要望がありますが今後の感染状況やワクチン接種の進捗状況を考慮しながら検討していきます。

県主催の集団接種や個別医療機関の予約枠が新たに追加されております。現在お持ちの予約日よりさらに早期の接種できる場合があります。

ご希望の方は予約ダイヤル
076-411-9065までご相談ください。

■厚生分科会・厚生委員会にて

<児童生徒や園児千人以上が食中毒症状を訴えた問題について>

早期の原因特定や適切な対応を求める意見に対し、市側は原因特定を急ぐとともに業者を適切に指導します。また今後の対応として立ち入り定期調査の回数や内容を見直し、検査態勢を強化していきます。



<傷病等により長期欠席する児童に対する保育所の退所措置に関する陳情の審査>

市側は、対応について言語道断な対応だったと謝罪し、慣例を見直し柔軟な対応に改善していくとの説明があり、陳情を全会一致で採択、本会議で採決されました。

■地域活動レポート

■コロナ×学校の働き方改革に対するWEBアンケート結果について

私は、令和3年の4月まで、地元の中学校でPTA会長を2年間務めさせていただき、学校の応援団というスタンスで取り組んでまいりました。PTAとして学校行事に参画することで、先生をはじめ生徒たちや息子と関わり持ったこと、また会長ということで親学びプログラムや各研修会を通じて保護者として学び、私自身成長する機会にもなりました。

以下は、昨年の富山県PTA会員大会において、コロナ×学校の働き方改革に対するアンケート調査があり、私たち参加者の回答結果をまとめた資料です。このアンケート結果が、学校やPTA、地域の方々との対話のきっかけになれば幸いです。

コロナ×学校の働き方改革 「どうすればいいでしょう?先生の仕事」

富山県教育委員会が挙げた具体策について
PTA会員を対象にアンケートを行いました。



ある調査によれば、教員の悩みワースト1は「授業準備の時間が足りない」です。準備が足りないと、分かりやすい授業がしづらくなり、その影響で子ども達が落ち着かなくなったり、喧嘩やイジメが発生したりして教員はその対応に追われ、ますます授業の準備時間が不足して「負の連鎖」になります。

この問題を解決するためには、時間外勤務時間を大胆に減らすことが大切です。時間のゆとりこそが教員の元気としてチャージされ、子ども達に豊かな教育ができる環境を守ることにつながります。

具体策A 始業式を4月10日前後に実施

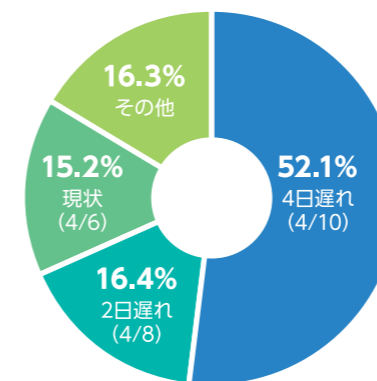
通常は4~6日:準備期間3日

4~6月の各月10時間のゆとり

十分な準備をして先生が笑顔で子どもたちを迎える。



Q. 始業式は何日であれば遅らせても大丈夫ですか?



具体策B 登校時間を30分遅らせる

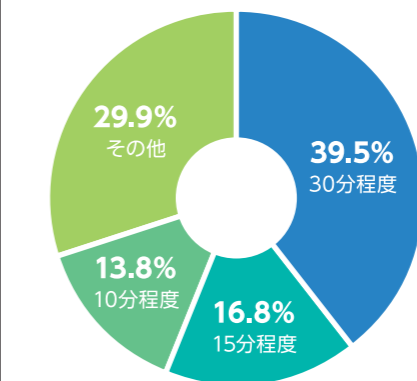
教員の勤務開始時間は8時15分前後

毎月10時間のゆとり

先生が十分に睡眠をとり、ゆとりを持って子どもと向き合う。



Q. 登校時間を遅らせるとしたら何分であれば可能ですか?



具体策C 通知表を年1回に

1,2学期はテストや作品を懇談会で提示

毎月7時間のゆとり

先生に余裕ができることで、日常の子ども達の良さをほめることができる。



Q. 通知表を年1回にすることについてどう思いますか?

